

第7 障がい福祉サービス等のサービス量の見込み

第3期計画におけるサービス量の実績と、第4期計画における見込みは以下のとおりです。

- ※ 「年あたり」の実績における平成26年度については、年間の見込みを記載しています。
- ※ 「月あたり」の実績および見込みは、各年度末の実績および見込みを記載しています。

1 障がい福祉サービス

(1) 訪問系サービス

・ 居宅介護（ホームヘルプ）

障がいのある人の居宅で、入浴、排せつ、食事の介護などを行います。

・ 重度訪問介護

重度の肢体不自由者などで常に介護を必要とする人に、居宅における入浴、排せつ、食事の介護や外出時における移動支援などを総合的に行います。

・ 同行援護

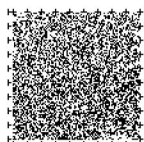
視覚障がいにより移動に著しい困難を有する人に、外出時に同行し、移動に必要な視覚的情報を提供するとともに、移動の援護や排せつ、食事等の介護などを行います。

・ 行動援護

知的障がいまたは精神障がいにより行動に著しい困難を有する人に、行動の際の危険を回避するための必要な支援および外出時の支援などを行います。

・ 重度障害者等包括支援

意思の疎通を図ることが困難で、常に介護を要し、その介護の必要性が著しく高い人に、居宅介護や通所などの複数のサービスを包括的に提供します。

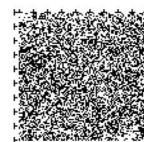


<実績（月あたり）>

		単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量		時間		4,485	5,135	5,893
実 績		時間	4,787.5	4,466	4,555	5,045
居宅介護	見込	時間		3,237	3,819	4,508
	実績	時間	3,504.5	3,260	3,388	3,754
重度訪問介護	見込	時間		783	806	830
	実績	時間	800	696	621	642
同行援護	見込	時間		441	486	531
	実績	時間	477	504	542	644
行動援護	見込	時間		24	24	24
	実績	時間	6	6	4	5
重度障害者等包括 支援	見込	時間		0	0	0
	実績	時間	0	0	0	0
差 引 き		時間		-19	-580	-848

第3期見込量		人		302	325	350
実 績		人	319	328	329	355
居宅介護	見込	人		242	260	280
	実績	人	264	274	275	291
重度訪問介護	見込	人		9	9	9
	実績	人	9	5	4	5
同行援護	見込	人		49	54	59
	実績	人	45	48	49	58
行動援護	見込	人		2	2	2
	実績	人	1	1	1	1
重度障害者等包括 支援	見込	人		0	0	0
	実績	人	0	0	0	0
差 引 き		人		26	4	5

実 績		人	319	328	329	355
身 体		人	196	205	210	222
知 的		人	45	45	42	45
児		人	9	7	8	9
精 神		人	69	71	69	79



居宅介護は、平成24年度の利用時間数が前年度を下回ったものの、平成25年度からは増加しています。また、利用者数は、毎年増加しています。

重度訪問介護は、実利用人数は変わらないものの、利用時間数が減少しています。

同行援護は、平成23年10月から実施されたサービスで、実績は増加しています。

行動援護は、利用者が1人ですが、利用時間数が減少しています。

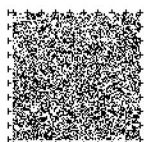
重度障害者等包括支援は、利用者がいません。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	時間	5,410	5,811	6,251
居宅介護	時間	4,013	4,290	4,586
重度訪問介護	時間	642	642	642
同行援護	時間	750	874	1,018
行動援護	時間	5	5	5
重度障害者等包括支援	時間	0	0	0

第4期見込量	人	385	418	454
居宅介護	人	311	333	356
重度訪問介護	人	5	5	5
同行援護	人	68	79	92
行動援護	人	1	1	1
重度障害者等包括支援	人	0	0	0

平成27年度以降は、ニーズの高い居宅介護については過去の伸び率の1.5倍の伸びを見込んで推計し、同行援護については過去の伸び率を基に、また、重度訪問介護および行動援護は27年度と同数を見込みました。



(2) 日中活動系サービス

ア 生活介護

常に介護を必要とする人に、昼間、障害者支援施設などにおいて、入浴、排せつ、食事の介護などを行うとともに、創作的活動や生産活動の機会を提供します。

<実績（月あたり）>

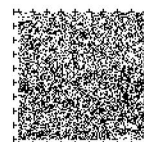
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		964	1,089	1,231
	日		17,508	20,484	23,966
実績	人	455	942	972	988
	日	7,595	16,378	16,955	19,127
身体	人	82	196	194	201
知的	人	373	746	776	784
精神	人	0	0	2	3
差引き	人		-22	-117	-243
	日		-1,130	-3,529	-4,839

平成24年度は、新体系への移行が完了したため、実績が急増しましたが、25年度、26年度は、増加率が緩やかになっています。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	1,084	1,191	1,309
	日	21,021	23,102	25,389

ニーズの高いサービスであることから、平成27年度以降は、過去の伸び率の1.5倍の伸びを見込んで推計しました。



イ 自立訓練（機能訓練）

障がいのある人が、自立した日常生活または社会生活ができるよう、身体機能の向上のために必要な訓練を行います。

<実績（月あたり）>

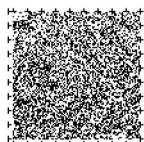
		単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人			4	4	4
	日			16	20	20
実 績	人		1	4	1	4
	日		1	32	2	17
身 体	人		1	4	1	4
	知 的	人	0	0	0	0
	精 神	人	0	0	0	0
差 引 き	人			0	-3	0
	日			16	-18	-3

市内には、事業所は1か所のみで、全国からの利用に対応しているため、市内の利用者は少数にとどまっています。

<見込み（月あたり）>

		単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人		4	4	4
	日		17	17	17

事業所の拡充が予定されていないことから、今後も、同程度の利用を見込みました。



ウ 自立訓練（生活訓練）

障がいのある人が、自立した日常生活または社会生活ができるよう、生活能力の向上のために必要な訓練を行います。

<実績（月あたり）>

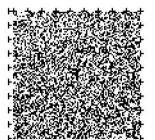
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		63	63	63
	日		1,381	1,381	1,381
実 績	人	23	32	30	31
	日	445	542	482	588
身体	人	0	0	0	0
知的	人	22	21	16	20
精神	人	1	11	14	11
差 引 き	人		-31	-33	-32
	日		-839	-899	-793

新体系へ移行した平成24年度は、精神障がいのある方の利用が増えましたが、平成25年度からは横ばいの状況です。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	33	35	37
	日	589	665	703

今後も、過去の利用状況を参考に、知的障がい、精神障がい各1名ずつの増加を見込みました。



エ 就労移行支援

企業への就労を希望する人に、一定期間、生産活動などの機会を提供し、就労に要する知識および能力の向上のために必要な訓練を行います。

<実績（月あたり）>

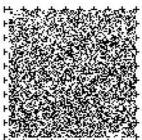
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	
第3期見込量	人		27	33	40	
	日		513	627	760	
実績	人	23	24	47	68	
	日	422	439	760	1,230	
	身体	人	4	6	11	9
	知的	人	19	18	20	34
	精神	人	0	0	16	25
差引き	人		-3	14	28	
	日		-74	133	470	

平成25年度に新規事業所が開設されたため、利用者数、利用日数がともに増加しています。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	74	80	87
	日	1,339	1,448	1,575

平成29年度には、平成25年度の利用者の約4割増を見込みました。



オ 就労継続支援（A型）

一般企業等での就労が困難な人に、雇用契約を結んで働く場を提供するとともに、知識および能力の向上のために必要な訓練を行います。

<実績（月あたり）>

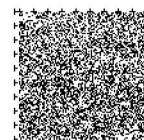
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		64	78	96
	日		1,107	1,343	1,634
実 績	人	64	58	54	67
	日	1,001	918	916	1,308
身 体	人	16	12	13	17
	知 的	25	22	19	29
	精 神	23	24	22	21
差 引 き	人		-6	-24	-29
	日		-189	-427	-326

事業所が新規に整備される一方で、B型へ転換した事業所もあり、利用者数および利用日数は、年ごとに増減しています。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	88	91	94
	日	1,709	1,765	1,824

平成27年度は、新規に整備される事業所を勘案し、推計しました。
平成28年度および29年度は、これまでの推移を見ながら3名ずつ増加するものと見込みました。



カ 就労継続支援（B型）

一般企業等での就労が困難な人に、働く場を提供するとともに、知識および能力の向上のために必要な訓練を行います。B型では、雇用契約は結びません。

<実績（月あたり）>

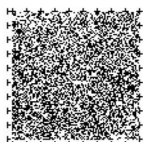
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		367	419	481
	日		6,523	7,523	8,678
実績	人	334	465	484	525
	日	5,833	7,605	7,566	9,228
身体	人	40	48	58	58
知的	人	252	311	305	338
精神	人	42	106	121	129
差引き	人		98	65	44
	日		1,082	43	550

事業所も増え、利用者数および利用日数ともに、増加傾向にあります。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	585	653	729
	日	10,298	11,493	12,826

平成27年度以降は、過去の伸び率を基に推計しました。



キ 療養介護

医療と常時介護が必要な人に、昼間、医療機関などで機能訓練や療養上の管理,医学的管理下での介護および日常生活の世話をを行います。

<実績 (月あたり) >

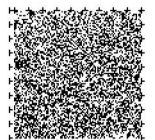
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		53	53	53
実績	人	5	55	55	55
差引き	人		2	2	2

市内には事業所はなく、利用者が固定化しています。

<見込み (月あたり) >

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	55	55	55

今後も、これまでと同人数の利用を見込みました。



ク 短期入所（ショートステイ）

居宅で障がいのある人を介護する人が病気の場合などに、障がいのある人を障害者支援施設などに短期間入所させ、入浴、排せつ、食事の介護などを行います。

<実績（月あたり）>

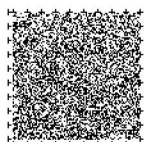
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		41	42	43
	日		267	324	391
実 績	人	28	28	30	31
	日	265	159	324	256
身体	人	6	6	9	11
知的	人	14	17	18	14
児	人	5	5	3	4
精神	人	3	0	0	2
差 引 き	人		-13	-12	-12
	日		-108	0	-135

介助者の体調不良時や休息のためのサービスであり、利用者数は増えていますが、利用状況は年ごとに増減があります。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	34	38	43
	日	285	317	353

平成27年度以降は、過去の伸び率を基に推計しました。



(3) 居住系サービス

ア 共同生活援助（グループホーム）

共同生活を行う住居において、おもに夜間、相談や入浴、排せつ、食事の介護など日常生活上の援助を行います。

<実績（月あたり）>

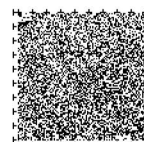
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		213	266	291
実績	人	193	226	241	264
身体・知的	人	151	185	195	214
精神	人	42	41	46	50
差引き	人		13	-25	-27

施設退所者や病院を退院した方の生活の場として、利用実績が増加しています。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	296	332	373

事業所数も増えてきており、今後、ますます重要なサービスとなるものと考えられることから、過去の伸び率に、施設からの退所者および事業所の新設による利用者の増加を加えて見込みました。



イ 施設入所支援

施設に入所している人に、主に夜間、入浴、排せつ、食事の介護などを行います。

<実績（月あたり）>

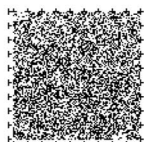
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		587	582	582
実績	人	241	568	565	579
身体	人	19	121	115	123
知的	人	222	447	450	456
精神	人	0	0	0	0
差引き	人		-19	-17	-3

平成24年度の新体系への移行後、利用者数は、ほぼ横ばいです。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	568	557	545

平成29年度の成果目標として、25年度末の入所者数から、4.2%が減少すると推計しました。



2 相談支援

(1) 計画相談支援

障がい福祉サービスを利用するにあたって必要となるサービス等利用計画を作成するとともに、定期的にサービス等の利用状況を検証します。

<実績（月あたり）>

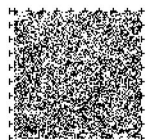
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		55	156	166
実績	人	—	5	55	328
差引き	人		-50	-101	162

平成26年度までに、障がい福祉サービスを利用する方は、利用計画を作成する必要があること、また、事業所数が増加したことにより、実績は急激に増加しています。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	330	333	338

平成27年度からは、これまで利用計画を作成した方が、継続支援としてモニタリングをするほか、新たに利用計画を作成する方を加えて推計しました。



(2) 地域移行支援

障害者支援施設や精神科病院を退所または退院する予定のある人に対し、住居の確保、地域生活の準備等の入居支援や福祉サービスの見学・体験のための外出への同行支援、地域における生活に移行するための活動に関する相談等の支援を行います。

<実績（月あたり）>

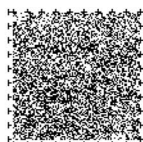
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		4	4	5
実績	人	—	2	0	8
差引き	人		-2	-4	3

平成24年度の事業開始から、利用者は次第に増えています。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	8	9	10

地域への移行を希望する方は、今後増加するものと見込まれるので、各年度1名ずつ増えるものと見込みました。



(3) 地域定着支援

地域移行後に独居など地域生活が不安定な人に対し、夜間等も含む緊急時における連絡、相談等に支援を行います。

<実績（月あたり）>

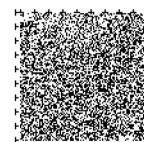
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		8	9	10
実績	人	—	0	0	4
差引き	人		-8	-9	-6

平成24年度は利用者がいませんでしたが、25年度以降、徐々に利用する方が増えてきています。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	4	5	6

地域への移行者は、今後増加するものと見込まれるので、各年度1名ずつ増えるものと見込みました。



3 障害児支援

(1) 児童発達支援

就学前の障がい児に対し、日常生活における基本的な動作の指導，知識技能の付与，集団生活への適応訓練等を行えるように，児童発達支援センターで支援を行います。

<実績（年あたり）>

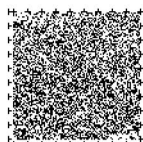
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		79	79	79
	日		18,584	18,584	18,584
実績	人	—	124	165	125
	日	—	14,895	16,357	17,699
差引き	人		45	86	46
	日		-3,689	-2,227	-885

平成24年度の事業実施以降，利用日数は毎年増加しています。

<見込み（年あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	137	150	164
	日	19,362	21,182	23,173

平成27年度以降は，過去の伸び率を基に推計しました。



(2) 医療型児童発達支援

就学前の主に肢体不自由のある障がい児に対し、医療型児童発達支援センターまたは指定医療機関に通わせ、児童発達支援および治療を行います。

<実績（年あたり）>

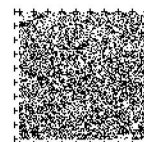
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		14	14	14
	日		2,832	2,832	2,832
実 績	人	—	28	37	23
	日	—	1,613	1,711	1,681
差 引 き	人		14	23	9
	日		-1,219	-1,121	-1,151

事業を開始した平成24年度以降、人数の増減はありますが、日数は増加傾向にあります。

<見込み（年あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	23	24	25
	日	1,716	1,752	1,789

平成27年度以降は、過去の伸び率を基に推計しました。



(3) 放課後等デイサービス

小・中・高等学校に就学している障がい児に対し、放課後や夏休み等における居場所の確保を図る観点から、単なる居場所としてだけでなく、日常生活に必要な訓練や指導などの療育を行います。

<実績（年あたり）>

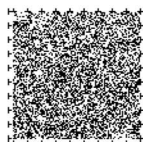
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		80	85	88
	日		2,990	3,175	3,286
実績	人	—	73	140	161
	日	—	5,330	11,311	18,026
差引き	人		-8	55	73
	日		2,340	8,136	14,740

事業所数が増加したことにより、利用実績も大きく伸びています。

<見込み（年あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	180	199	218
	日	20,160	22,288	24,416

平成27年度以降は、新規の事業所開設の予定は今のところありませんが、ニーズの高い事業であることから、利用者の増加を見込みました。



(4) 保育所等訪問支援

保育所等に通う障がい児に対し、集団生活への適応のための専門的な指導や支援を必要とする場合に、障がい児施設の職員等が保育所等を訪問し、専門的な支援を行うとともに、訪問先のスタッフに対する支援を行います。

<実績（年あたり）>

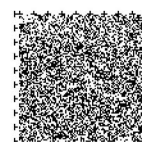
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		20	26	26
	日		180	234	234
実績	人	—	0	1	1
	日	—	0	3	22
差引き	人		-20	-25	-25
	日		-180	-231	-212

平成25年度から、1か所の事業所が実施しています。

<見込み（年あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	1	2	3
	日	24	48	72

事業の浸透に伴い、利用者も増加することを見込みました。



(5) 障害児相談支援

障害児通所支援を利用するに当たって必要となる障害児支援利用計画を作成するとともに、定期的に障害児通所支援等の利用状況を検証します。

<実績（年あたり）>

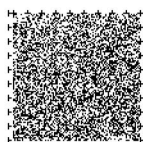
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		48	121	121
実績	人	—	0	52	453
差引き	人		-48	-69	332

計画相談支援と同様に、平成25年度以降、利用実績が急増しています。

<見込み（年あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	853	903	953

平成27年度からは、これまで利用計画を作成した児童が、継続支援としてモニタリングをするほか、新たに利用計画を作成する児童については、過去の支給決定状況を踏まえて推計しました。



4 地域生活支援事業

(1) 必須事業

ア 理解促進・研修啓発事業

障がいのある人が日常生活をする上で生じる「社会的障壁」を除去するため、障がい等の理解を深めることを目的とし、研修・啓発を通じて、地域住民への働きかけを行います。

<実績>

現在、市では、「ノーマライゼーション推進事業」として、学校や企業、地域などを対象に、ノーマリー教室を実施したり、障がい者週間記念行事などを実施しています。

<見込み>

「ノーマライゼーション推進事業」を継続して実施し、住民の障がいに対する理解を深める働きかけを行います。

イ 自発的活動支援事業

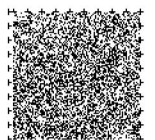
障がいのある人やその家族、地域住民等が自発的に行う活動に対する支援を行います。

<実績>

現在、市では、「ボランティア活動支援事業」として、精神障がい者の自助グループであるボランティア活動団体に対する支援を行っています。

<見込み>

今後も、障がいのある方等が、仲間と話し合い、自立のために社会に働きかける活動（ボランティア等）への支援や、障がいのある方の社会復帰活動への支援を行います。



ウ 相談支援事業

(ア) 障害者相談支援事業

障がいのある人やその家族からの相談に応じ、障がい福祉サービス等の利用援助や各種専門機関の紹介など必要な情報の提供や助言等を行うとともに、虐待の防止と早期発見のための援助を行います。

<実績>

	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	か所		2	4	4
実績	か所	2	2	2	2
差引き	か所		0	-2	-2

現在、2か所の事業所で必要な支援を行っています。

<見込み>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	か所	2	2	2

今後も、現在の事業所に、継続して事業を委託します。

(イ) 基幹相談支援センター等機能強化事業

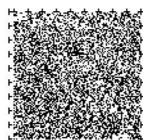
一般的な相談支援事業に加え、特に必要と認められる能力を有する専門的職員を配置するなど、相談支援機能の強化を図るため、基幹相談支援センターを設置します。

<実績>

近隣の自治体と共同で事業を展開するため、関係団体等と設置に向けての協議を進めています。

<見込み>

近隣の自治体と共同で、早期に設置します。



(ウ) 住宅入居等支援事業

賃貸契約による一般住宅への入居にあたって支援が必要な障がい者に対し、必要な調整や家主への相談・助言等を通じて、地域生活の支援を行います。

<実績>

相談支援事業として、住宅入居に関する相談にも対応しています。

<見込み>

今後も、対象者からの相談に対応し、生活の支援を行います。

エ 成年後見制度利用支援事業

障がいがあることにより、判断能力が不十分で、成年後見制度の利用が必要な人に対し、一定の要件を満たす場合に、申立費用の助成や後見人等の報酬の助成を行います。

<実績（年あたり）>

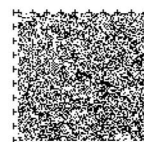
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		5	8	11
実績	人	0	2	1	2
費用助成	人	0	2	0	2
報酬助成	人	0	0	1	0
差引き	人		-3	-7	-9

成年後見制度の利用にあたり、親や親族が後見人となる場合が多く、当事業を利用する方は増えていません。

<見込み（年あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	8	10	12

事業の周知を図ることにより、利用者の増加を見込みました。



オ 成年後見制度法人後見支援事業

成年後見制度を適正に行うことができる法人を確保できる体制を整備するとともに，市民後見人の活用も含めた法人後見の活動を支援します。

<実績>

高齢者に対する支援と一体的な施策としての実施を検討しています。

<見込み>

市民後見人をバックアップするほか，一般市民からの相談なども含めた窓口として，成年後見制度に対する専門的知識のある職員を配置した（仮称）成年後見センターを設置します。

カ 意思疎通支援事業

(ア) 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

聴覚，言語機能または音声機能の障がいのため，意思疎通に支障のある人に対し，その円滑化を図るため，手話通訳者・要約筆記者等を派遣します。

<実績（年あたり）>

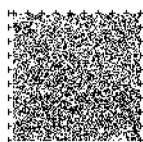
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	件		1,848	1,885	1,923
実績	件	1,638	1,633	1,567	1,733
差引き	件		-215	-218	-190

平成26年度は，各種大会における会議等の開催が多く，実績が増えていますが，その他の利用は，ここ数年横ばいです。

<見込み（年あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	件	1,733	1,733	1,733

平成27年度以降は，26年度の見込みと同数の利用があるものと見込みました。



(イ) 手話通訳者設置事業

聴覚、言語機能または音声機能の障がいのため、意思疎通に支障のある人に対し、その円滑化を図るため、専任の手話通訳者を配置します。

<実績>

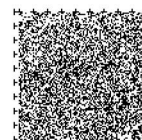
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		2	2	2
実績	人	2	2	2	2
差引き	人		0	0	0

現在、障がい保健福祉課および亀田福祉課の2か所に専任の手話通訳者各1人を配置しており、手話を必要とする聴覚障がい者からの相談時等の通訳を行っています。

<見込み>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	2	2	2

今後も、現在の2か所への配置を継続します。



キ 日常生活用具給付等事業

在宅の障がい者等に対し、日常生活の便宜を図るため、日常生活用具の給付または貸与を行います。

<実績（年あたり）>

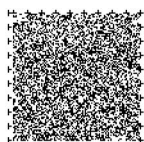
		単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量		件		6,390	6,683	7,044
実績		件	6,419	6,877	6,964	7,432
介護・訓練支援用具	見込	件		7	7	7
	実績	件	15	13	13	12
自立生活支援用具	見込	件		102	174	298
	実績	件	72	58	82	76
在宅療養等支援用具	見込	件		24	33	45
	実績	件	23	26	27	24
情報・意思疎通支援用具	見込	件		99	125	158
	実績	件	164	192	218	308
排泄管理支援用具	見込	件		6,150	6,335	6,525
	実績	件	6,131	6,578	6,619	7,004
居宅生活動作補助用具	見込	件		8	9	11
	実績	件	14	10	5	8
差引き		件		487	281	388

品目が追加されたことなどにより、件数は年々増加しています。

<見込み（年あたり）>

		単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量		件	7,693	8,035	8,393
介護・訓練支援用具		件	12	12	12
自立生活支援用具		件	76	76	76
在宅療養等支援用具		件	24	24	24
情報・意思疎通支援用具		件	289	289	289
排泄管理支援用具		件	7,284	7,626	7,984
居宅生活動作補助用具		件	8	8	8

今後も、これまでの実績を基に、排泄管理支援用具については、給付の件数が伸びるものと推計し、また、その他の用具については、同数を見込みました。



ク 手話奉仕員養成研修事業

意思疎通を図ることに支障がある障がい者の自立した日常生活または社会生活を支援するため、手話で日常会話を行うのに必要な技術等を習得した手話奉仕員を養成します。

<実績（年あたり）>

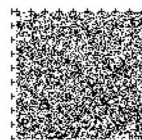
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		130	130	130
実績	人	59	59	59	130
差引き	人		-71	-71	0

講習の受講者は、定員の半分に達していません。

<見込み（年あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	130	130	130

派遣事業の利用者の増加に対応するため、事業を継続するとともに、受講者の確保に努めます。



ケ 移動支援事業

屋外での移動が困難な障がい者等について、社会生活上必要不可欠な外出および余暇活動等の社会参加のための外出の際の移動を支援します。

<実績（月あたり）>

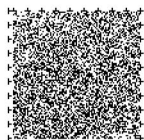
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		48	48	48
	時間		249	253	258
実 績	人	39	42	44	50
	時間	466	521	501	557
差 引 き	人		-6	-4	2
	時間		272	248	299

平成23年10月からは、視覚障がいの方へのサービスが、同行援護事業に移行しましたが、その後は、利用時間については、年々増加しています。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	51	53	55
	時間	563	583	603

平成27年度は、26年度の上半期の実績を基に推計しました。
平成28年度および29年度は、過去の伸び率を基に推計しました。



コ 地域活動支援センター

障がいのある人の地域生活を支援するため、通所により、創作的活動または生産活動の機会および社会との交流の促進等の便宜を供与する地域活動支援センターにおいて、日中活動の場を提供します。

<実績（月あたり）>

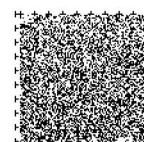
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	か所		11	11	11
	人		235	235	235
実 績	か所	8	8	7	7
	人	232	265	254	254
差 引 き	か所		-3	-4	-4
	人		30	19	19

平成25年度に、事業所が1か所減少し、利用者もその分減少しました。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	か所	7	7	7
	人	254	254	254

今後も、事業所数、利用者数ともに現状と変わらないものと見込みました。



サ 障害児等療育支援事業

障がいのある児童等の地域生活を支えるため、療育に関する相談・支援および地域の施設等に対する専門的な相談・支援を行います。

<実績>

	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	か所		1	1	1
実績	か所	1	1	1	1
差引き	か所		0	0	0

事業を実施している1か所は、北海道からの委託も受けています。

<見込み>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	か所	1	1	1

現在、事業を実施している事業所に、継続して委託することとします。

シ 専門性の高い意思疎通支援を行う者の養成研修事業

(ア) 手話通訳者・要約筆記者養成研修事業

身体障害者福祉の概要や手話通訳または要約筆記の役割・責務等について理解し、必要な技術等を習得した手話通訳者および要約筆記者の養成を行います。

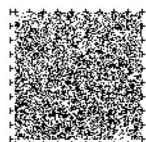
<実績>

平成26年度から事業を実施しています。

<見込み>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	6	6	6

手話通訳者および要約筆記者のそれぞれについて、各3名の受講を見込みました。



(イ) 盲ろう者向け通訳・介助員養成研修事業

盲ろう者の自立と社会参加を図るため、盲ろう者向け通訳・介助員の養成を行います。

<実績>

実施に向けて検討を進めています。

<見込み>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	3	3	3

平成27年度から事業を実施することとし、各年度3人ずつの利用を見込みました。

ス 専門性の高い意思疎通支援を行う者の派遣事業

(ア) 手話通訳者・要約筆記者派遣事業

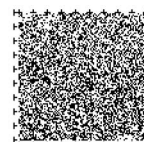
聴覚に障がいのある人の自立と社会参加を図るため、複数市町村の住民が参加する障がい者団体等の会議、研修、講演または講義等における派遣を可能とするため、手話通訳者または要約筆記者を派遣します。

<実績>

実施に向けて検討を進めています。

<見込み>

手話通訳者・要約筆記者養成研修事業の受講者の状況を把握するとともに、現在実施している派遣事業との調整を図りながら、当面は、実施に向けた体制の整備を進めます。



(イ) 盲ろう者向け通訳・介助員派遣事業

盲ろう者の自立と社会参加を図るため、コミュニケーションおよび移動等の支援を行う盲ろう者向け通訳・介助員を派遣します。

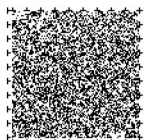
<実績>

平成26年度から事業を実施しています。

<見込み>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	24	24	24

対象者が限定されるため、平成26年度の見込みと同数を見込みました。



(2) 任意事業

ア 福祉ホーム

地域生活を支援するため、住居を必要とする人に、低額な料金で、居室その他の設備を利用させるとともに、日常生活に必要な便宜を提供します。

<実績（月あたり）>

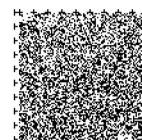
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	か所		1	1	1
	人		15	15	15
実 績	か所	1	1	1	1
	人	14	14	14	15
差 引 き	か所		0	0	0
	人		-1	-1	0

現在、市内には1施設ありますが、定員15人に対して、14人が入居しています。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	か所	1	1	1
	人	15	15	15

今後も、施設および定員の増加予定がないことから、平成26年度と同数を見込みました。



イ 訪問入浴サービス

歩行が困難で移送に耐えられない等の事情がある在宅の身体障がい者に、訪問による入浴サービスを提供します。

<実績（年あたり）>

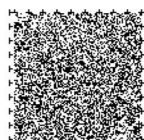
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		4	4	4
	回		228	228	228
実績	人	4	4	4	4
	回	218	220	205	225
差引き	人		0	0	0
	回		-8	-23	-3

重度の障がいのある方で、移動および家庭での入浴が困難な方が対象ですが、対象者が限定されることから、ほぼ横ばいとなっています。

<見込み（年あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	4	4	4
	回	228	228	228

これまでの実績を勘案し、現状どおりの見込みとしました。



ウ 中途障害者生活訓練

身体に中途障がいのある人に対し，自宅内およびその周辺地域等において，歩行訓練や日常生活に必要な訓練および指導等を行います。

<実績（年あたり）>

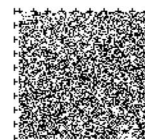
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		3	3	3
実績	人	0	0	0	1
差引き	人		-3	-3	-2

過去3年間の利用者はいませんでした。

<見込み（年あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	1	1	1

今後の利用希望者を勘案し，平成27年度以降も1人の利用を見込みました。



エ 日中一時支援

介護している家族が一時的に休息がとれるようにするとともに、障がいのある人に日中活動の場を提供し、社会に適応するための日常的な訓練その他の支援を行います。

<実績（月あたり）>

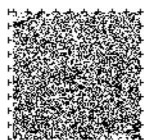
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		10	12	15
	回		59	97	161
実績	人	36	19	25	23
	回	167	50	87	64
差引き	人		9	13	8
	回		-9	-10	-97

平成24年度からは、一部の対象者が、放課後等デイサービス事業へ移行しました。

<見込み（月あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	23	23	23
	回	64	64	64

年度によって、利用実績に増減があることから、今後は、平成26年度の上半期の実績により推計した平成27年度の見込み量と同数を見込むこととしました。



オ スポーツ・レクリエーション教室開催等

スポーツ・レクリエーションを通じて、障がい者等の体力増強，交流，余暇等に資するためおよび障害者スポーツを普及するため，各種スポーツ・レクリエーション教室等を開催し，障害者スポーツに触れる機会を提供します。

<実績>

現在，市では，「障害者スポーツ教室開催事業」，「知的障害者青年教室開催事業」および「精神障害者ふれあい交流事業」を実施しています。

<見込み>

現在実施している事業を継続して実施します。

カ 障がい福祉のしおり発行事業

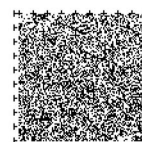
障がいに関する相談の窓口や関係機関が実施している制度を周知するため，障がい福祉のしおりを発行し，関係者に配布します。

<実績>

各種の制度を，年金，手当，保険・貸付制度，健康・医療，福祉サービス，各種減免等に分けて，その概要を紹介した冊子を，毎年度発行しています。

<見込み>

今後も継続して発行し，関係者に配布します。



キ 奉仕員養成研修事業

点訳または朗読に必要な技術等を習得した点訳奉仕員，朗読奉仕員等を養成研修します。

<実績（年あたり）>

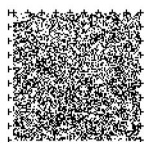
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		80	80	80
実績	人	16	18	10	80
点訳	人	5	7	6	40
朗読	人	11	11	4	40
差引き	人		-62	-70	0

点訳については専門的な技術を要すること，また，朗読については他の団体等でも講習を実施していることなどから，各講座とも受講者は，定員を大きく下回っています。

<見込み（年あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	80	80	80
点訳	人	40	40	40
朗読	人	40	40	40

今後も定員を同数とし，受講者の確保に努めます。



ク 身体障害者自動車運転免許取得助成事業

就労その他の社会参加を促進するため、身体に障がいのある人を対象に、自動車運転免許の取得にかかる費用の一部を助成します。

<実績（年あたり）>

	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		5	5	5
実績	人	3	2	6	5
差引き	人		-3	1	0

年度によって利用件数は上下しています。

<見込み（年あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	5	5	5

一定のニーズはあるものと考えられるので、今後も、これまでと同数を見込みました。

ケ 重度身体障害者用自動車改造助成事業

就労その他の社会参加を促進するため、重度の身体障がいのある人が自ら所有する車を改造した場合に、その費用の一部を助成します。

<実績（年あたり）>

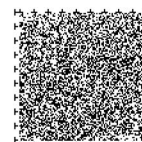
	単位	23年度	24年度	25年度	26年度
第3期見込量	人		5	5	5
実績	人	4	7	4	5
差引き	人		2	-1	0

年度によって利用件数は上下しています。

<見込み（年あたり）>

	単位	27年度	28年度	29年度
第4期見込量	人	5	5	5

一定のニーズはあるものと考えられるので、今後も、これまでと同数を見込みました。



◎ 第4期函館市障がい福祉計画における成果目標

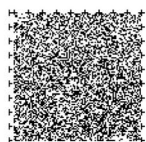
およびサービス見込み量一覧

成果目標

施設入所者の地域生活への移行者数	55人	9.7%
施設入所者の減少数	24人	4.2%
一般就労への移行者数	43人	2.4倍
就労移行支援事業利用者数	87人	4割増
就労移行率3割以上の就労移行支援事業所	3か所	5割

サービス見込み量

障がい福祉サービス(月あたり)		平成27年度	平成28年度	平成29年度
訪問系サービス	時間	5,410	5,811	6,251
	人	385	418	454
居宅介護(ホームヘルプ)	時間	4,013	4,290	4,586
	人	311	333	356
重度訪問介護	時間	642	642	642
	人	5	5	5
同行援護	時間	750	874	1,018
	人	68	79	92
行動援護	時間	5	5	5
	人	1	1	1
重度障害者等包括支援	時間	0	0	0
	人	0	0	0
日中活動系サービス				
生活介護	人	1,084	1,191	1,309
	日	21,021	23,102	25,389
自立訓練(機能訓練)	人	4	4	4
	日	17	17	17



日中活動系サービス		平成27年度	平成28年度	平成29年度
自立訓練（生活訓練）	人	33	35	37
	日	589	665	703
就労移行支援	人	74	80	87
	日	1,339	1,448	1,575
就労継続支援（A型）	人	88	91	94
	日	1,709	1,765	1,824
就労継続支援（B型）	人	585	653	729
	日	10,298	11,493	12,826
療養介護	人	55	55	55
短期入所（ショートステイ）	人	34	38	43
	日	285	317	353
居住系サービス				
共同生活援助（グループホーム）	人	296	332	373
施設入所支援	人	568	557	545

相談支援（月あたり）		平成27年度	平成28年度	平成29年度
計画相談支援	人	330	333	338
地域移行支援	人	8	9	10
地域定着支援	人	4	5	6

障害児支援（年あたり）		平成27年度	平成28年度	平成29年度
児童発達支援	人	137	150	164
	日	19,362	21,182	23,173
医療型児童発達支援	人	23	24	25
	日	1,716	1,752	1,789
放課後等デイサービス	人	180	199	218
	日	20,160	22,288	24,416
保育所等訪問支援	人	1	2	3
	日	24	48	72
障害児相談支援	人	853	903	953

